

# 埼玉県透析患者防災の手引

## ～ 災害が起きた場合の3ステップ～

### ステップ1

#### まず、かかりつけ透析医療機関に連絡

- 行ってみるのか、電話をするのか、災害用伝言ダイヤル等を活用するのか、普段からいざというときの連絡方法をかかりつけ透析医療機関に確認しておきましょう。
- 連絡を取り、自分の状況を伝えるとともに、今後の助言を受けましょう。
- 透析医療機関が人工透析をできない場合、透析が可能な別の施設で透析を受けることになりますので、助言に従いましょう。

### ステップ2

#### かかりつけ透析医療機関と連絡が取れない場合

お住いの市町村の避難行動要支援者名簿の所管課や、指定避難所等の市町村職員に以下の内容を伝えましょう。

- かかりつけ透析医療機関と連絡が取れないこと
- 人工透析を実施している医療機関を紹介してほしいこと
- かかりつけ医から安否確認の連絡があった場合、自分の居場所及び連絡先を伝えてほしいことなど

### ステップ3

#### 一般電話回線が不通になるなど市町村とも連絡が取れない場合

地域の指定避難所又は最寄りの指定避難所に行き、避難所の市町村職員に自分が透析患者であり、透析治療ができないと命に関わることを伝え、以下のような相談をしましょう。

- 人工透析を実施している医療機関を紹介してほしいこと
- 医療救護班に透析治療が必要であることを伝えてほしいこと
- かかりつけ医から安否確認の連絡があった場合、自分の居場所や連絡先を伝えてほしいことなど

※ 指定避難所へは必ず「災害時透析患者カード」等により、透析情報、お薬手帳、3日分の薬を持参しましょう。

## まとめ ～ 平常時からの準備が重要 ～

災害対応は、まず「自分の命、安全は自分で守る」ことが重要です。

普段から災害時の行動（自助）を想定して、かかりつけ透析医療機関との連絡方法の確認や、持ち物リストの用意を行きましょう。

透析医療機関と連絡が取れず避難所に避難することを想定して、塩分やカリウム、飲水を控えることを覚えておくことも重要です。

市町村（避難所）では患者等の安否確認に避難行動要支援者名簿を活用しますので、災害時に円滑に市町村の支援を受けるため、普段からこの名簿に自分の情報を登録することもとても大事です。

そのほか、かかりつけ透析医療機関で透析ができない場合や、自身の避難先となる場所で透析を受ける場合の医療機関を事前に確認しておきましょう。

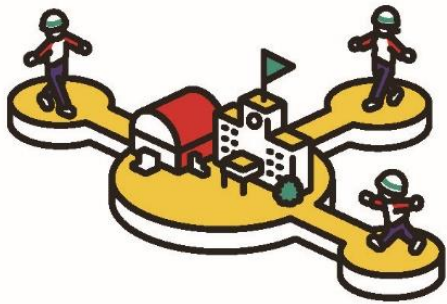
### 「災害時は自助・共助・公助！」

参考 非常時の連絡方法（イツモ防災マニュアルブック 命を守る3つの自助編より抜粋）

# 非常時の連絡方法①

## ● 家族で決めておく連絡のルール

日中、家族は離れ離れ。非常時の連絡方法は家族内であらかじめ複数決めておきましょう。



集合場所・  
避難場所



行先の  
メモを残す  
場所・方法



災害時の  
連絡手段  
(災害用伝言  
サービスなど)



連絡の  
取り次ぎ先  
(遠方の親戚・  
知人など)

## ● 避難場所と遠方の知人の連絡先メモ

安否情報を取り次いでくれる人  
(遠方の親戚・知人)の連絡先

名前

電話番号

携帯番号

メール

緊急時の家族の  
避難(集合)場所

津波や、河川の氾濫の危険がある場合は、  
堅固な中高層ビルや高台などに避難し、  
安全が確認できるまで待機する。



## 非常時の連絡方法②

### ● 災害用伝言サービスの種類

災害用伝言サービスには3つの種類があります。  
それぞれの特徴を知り、複数使えるようにしておきましょう。

災害用伝言ダイヤル  
「171」



171をダイヤル

登録可能番号

#### すべての電話番号

固定電話は被災地域の  
市外局番に限る

保存期間

サービス  
終了時まで

登録件数

1~20件

被災規模によって  
変わります

録音時間

30秒/件

災害用伝言板



各社公式メニューや  
専用アプリから

登録可能番号

#### 携帯の電話番号

登録時は自動的に  
登録され入力不要

保存期間

サービス  
終了時まで

登録件数

10件

ソフトバンクは  
80件

登録文字数

100字/件

災害用伝言板  
web171



『web171』で検索

登録可能番号

#### すべての電話番号

携帯、PHS、IP電話の  
番号でも登録可能

保存期間

6ヶ月

登録件数

20件

携帯各社伝言板の  
伝言も一括検索可能

登録文字数

100字/件

各種災害用伝言サービスは、毎月1日と15日等に体験利用ができます。  
使い方をあらかじめ確認してください。

# 災害用伝言ダイヤル「171」の使い方

1



「171」をダイヤルする。  
携帯電話や公衆電話でもOK。

2

録音



再生



録音は「1」を、再生は「2」を  
ダイヤルする。

3



録音は「自分の番号」、再生は  
「相手の番号」をダイヤルする。

4



音声ガイダンスにしたがって、  
伝言を録音または再生する。

録音 する電話番号



一口メモ



録音時間は30秒と短いため、  
あらかじめ録音内容を作成しておくといでしょう。



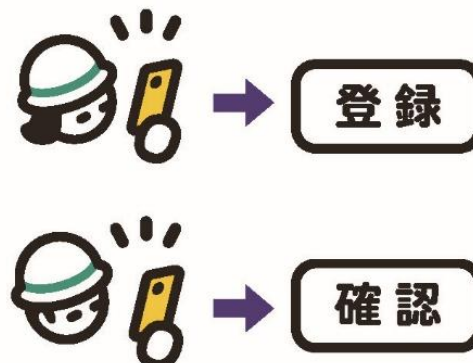
# 災害用伝言板(携帯電話・スマートフォン・PHS)の使い方

1



公式メニューや専用アプリから「災害用伝言板」にアクセスする。

2



登録は「登録」を、確認は「確認」を選択する。

3



登録は「状態」とコメントを、確認は「相手の携帯番号」を入力する。

4



「登録」を押して完了する。確認は登録済の伝言を閲覧する。

スマートフォンの場合、機種によっては専用アプリからのみアクセスできます。あらかじめダウンロードしておきましょう。

一口メモ



SNSは、災害時には安否確認手段としても活用できます。電池切れに備え、充電器を常備しましょう。

# 災害用伝言板 (web171) の使い方

1

検索



WEB 171

インターネットから  
災害用伝言板(WEB171)  
へアクセスする。

2

電話番号

0123-XX-XXXX



登録



確認

伝言を登録するときも  
確認するときも  
電話番号を入力する。

3

【伝言】

〇〇です。  
無事です。今は  
家にいます。

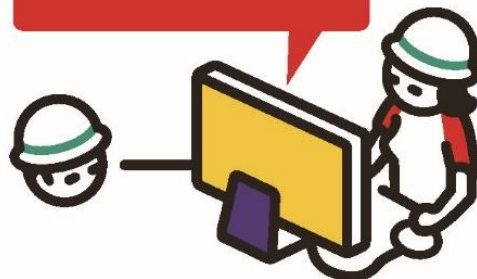


登録は伝言を入力し  
「登録」を押す。確認は  
登録済の伝言を閲覧する。

4

【返信】

私も無事です。  
今は会社に  
います。



伝言に返信するときは、  
必要事項を記載し「伝言  
の登録」をクリックする。



登録 する電話番号

一口メモ



あらかじめ伝言を伝えたい方の連絡先を設定すると、  
実際に伝言を登録した際に、その通知先へ伝言内容を  
メールまたは電話で通知することができます。